

2020年

2月16日

第2556号

月3回刊
日曜日発行

発行所 広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11/電話(082)228-4046
(昭和41年2月19日第三種郵便物認可)
1ヵ月 240円(送料126円)/1部 80円
郵便振替 01330-2-34778
© 広島民報社 2020年

広島民報

岡山大学名誉教授
小松泰信さん

新春対談

野党連合政権へ 共産党を大きく(中) 地方の力

日本共産党前参院議員
仁比聡平さん



小松 僕は長崎出身なんです。仁比さんの活動地域は広いですね。それぞれの自治体や地域もさまざまな特徴を持っていますし、共産党の影響力が大きいとは言えませんが、大変ですね。仁比 とにかくこの西日本17県は広いんです。共産党の候補者として活動し始めて20年、自民党政権に代わる政治を作ろうと、各県の支部や地方議員の皆さんと一緒に取り組んできましたが、小松さんは私とは違う角度からこの地域をみてこられて、政治を変えていくのにどんな条件・視点が必要かと。小松 全国回っていると東京に対して衰退した衰退したと言われ、でもどっこい地方は生きているんですよ。仁比 小松さんの書いておられる農業協同組合新聞電子版の「隠れ共産党宣言」を知った時に、その中身とともにもそのタイトル「地方の眼力」に感銘を受けたんです。地方が衰退していつている一方だというのは違うぞと。そこを聞きたい。小松 実はコラムのタイトルをどうするか。担当の方に「タイトルの案を出してください。そこに僕に書いてもらいたいコンセプトが込められる。僕も考えるけどそちらも出してください」と言ったら、「岡山で生活している小松さんに頼みたいことは、地方からのまなざし・目線で自由闊達に言ってもらいたい」と。地方からの目線：眼力。地方を大切に、そういうところからものを申す。さらに自分自身が地方から発信していくという

二重三重の意味があるんです。人口は確かに減少しているけれど、そこにどうやって行くと、皆さん生き生きと生活されていくわけですね。ところが、国が徐々に生きづらくなっていく、これが理想だなあ。そんな場面でお手伝い出来たらいいなと思っています。仁比 なるほど。今の「地方の眼力」の視点と、これは現実の生活なのか。地域住民を大切にしている町だ、ねえというものをいっばい作り上げる。それを国政で「こんな生き生きとした地域づくりをしていくよ」と言っている、これが理想だなあ。そんな場面でお手伝い出来たらいいなと思っています。小松 もう一つは長いこと、諫早湾干拓事業で干拓農業と漁業が共によみがえる運動を続けてきましたし、石木ダム建設のようにダム計画さえなければ、虫の飛ぶ穏やかでひなびた日本の原風景のような農村の生活を理由もなく破壊していくことに抗して取り組んでいくことが多いんですよ。(2面へ続く)



地下水

「知らざあ言って聞かせやしよ」。「ご存じ浪五人男」

「桜を見る会」の推薦者名簿の一部が白塗りして消したのは明白に改ざん。公文書管理法に反する行為です。それを国会で追及された北村誠吾地方創生担当相は「刑法上の改ざんではない」と断言したかと思えば、一転して「私の思いを述べた」などと支離滅裂な答弁を重ね、失笑を買いました。◆珍答弁なら、この人も負けていません。安倍晋三首相。「広く募っているが、募集はしていない」とは、迷言を通り越して妄言です。「桜」疑惑の張本人がどこまで白を切り続けるのでしょうか。◆「知らぬ存ぜぬ」で押し通すと言え、もう一つ忘れてならないのが、河井克行・案里夫妻の疑惑。だんまりを決めた台詞よろしく、国民の声で安倍政権もろとも引導を渡すしかありません。(わ)

広島県議会委

災害問題について質問

日本共産党・辻つねお議員



広島県議会

16日に創造的復興・県士強靱化対策特別委員会が、17日に生活福祉保健委員会があり、日本共産党の辻つねお議員は、災害問題について質問しました。16日の委員会では、議員は、県東部を流れる一級河川、芦田川の堤防の強化を国に求めるよう要望。国交省の2008年の堤防調査によると、7.7%が安全不足で、決壊すれば広範囲に1〜5m浸水すると予想されています。

辻議員は「住民から不安の声が出されている」と指摘。県河川課の木村成弘課長は、国、県、福山市、府中市で構成する「芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」で地元要望の情報を共有していくと答えました。17日の委員会では、西日本豪雨災害で仮設住宅に入居している被災世帯のうち、自宅の再建方法の見通しが未定であるにもかかわらず、入居の延長が認められない被災世帯が35件もあることが判明。辻議員は「仮設住宅の入居期限を政府は昨年未、1年間延長する方針を決定したが、一律の線引きではなく、被災者に寄り添った支援を」と要望しました。県地域支え合い担当課の米田一裕課長は「被災者一人ひとりの生活再建計画を立て、細かく対応したい」と答えました。

福山市議選勝利へ

仁比前参院議員が応援演説

日本共産党の仁比さんが集まり、訴えに聞き入りました。仁比氏は、安倍晋三首相の「桜を見る会」私物化疑惑をめぐり、日本共産党の追及に安倍首相が「募ったけれども募集はしていない」と答弁した問題や、消費税率が社会保障の充実に使われていない実態を指摘しました。



土屋ともりのり候補



高木たけし候補



みよし剛史候補



河村ひろ子候補